

2026 年 6月 8日

関係者各位

大 東 文 化 大 学  
社会学部長 塚本 正文  
(公 印 省 略)

## 英語科目非常勤講師の公募

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、社会学部では下記の要領により非常勤講師を公募することとなりました。  
つきましては、ご応募方よろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

1. 所 属 : 社会学部社会学科
2. 採用人数: 1 名 (非常勤講師)
3. 採用予定日: 2027年4月1日
4. 担当科目: 前期「実用コミュニケーション英語」1および3 (半期2コマ)  
後期「実用コミュニケーション英語」2および4 (半期2コマ)
5. 担当曜日: 原則として月曜日または金曜日
6. 勤 務 地 : 本学 東松山校舎 (埼玉県)
7. 給与: コマ金額: 28,600円~31,600円 (経歴により決定します)  
1コマ月額: 28,600円~31,600円 (半期科目: 6か月支給)
8. 応募締切: 2026 年 9 月 10日 17時まで 必着
9. 提出書類: 1) 履歴書 (捺印、E-mailアドレス記載のこと) \*書式は自由  
2) 研究業績一覧  
3) 主要研究業績 (1点) (コピー可)
10. 提出先: 郵送またはJREC-IN Portalの電子応募にて受け付けます。  
電子応募の場合は、提出書類を1つのPDFファイルにまとめてご提出ください (パスワードはかけないでください)。PDF化が困難な書類等をご郵送ください。  
郵送の場合は、応募書類の封筒の表に、「英語科目非常勤講師応募書類」と朱書のうえ、  
追跡調査ができる形 (簡易書留等) で下記住所までご郵送ください。  
〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 大東文化大学 社会学部事務室 宛
11. 問い合わせ先: TEL 03-5399-7356
12. 選考内容: 書類審査後、オンライン面接を実施します。

詳細については対象者にメールで通知します。

12. 採否の結果は、決定したい本人宛に通知します。電話でのお問い合わせには応じられません。

13. 授業概要：

社会学科	
実用コミュニケーション英語 1	<b>授業の概要</b> 日本国内の時事問題や社会的事象を題材にして、社会的な視野を広げながら、英語のスキルを養成する。本セメスターでは、日本の社会や文化に関するテーマを扱う。現代社会の諸問題に対して自分がどう行動すべきかを考える。これにより、1年次で培った知識を基礎に、英語で行動する積極的な態度を養成し、より実践的に英語で行動できることを目標とする。また、文献探索などの問題分析のテクニックを学び、クラスメートとディベートし、発表を行う。英語で社会問題に取り組むためのアクティブ・ラーニングの授業を通じて、学生に問題発見を促す。学生は、グループおよび個人で問題を発見し、それを検討して交代でプレゼンテーションを行うというアクティブ・ラーニングを行う。教授用の日本語は評価に関するものなど一部に精選・制限される。
実用コミュニケーション英語 2	<b>授業の概要</b> 日本国内と世界の時事問題や社会的事象を題材にして、社会的な視野を広げながら、英語のスキルを養成する。本セメスターでは、海外諸外国の社会や文化に関するテーマを扱う。現代社会の諸問題に対して自分がどう行動すべきかを考える。これにより、前期で培った知識を基礎に、英語で行動する積極的な態度を養成し、より実践的に英語で行動できることを目標とする。また、文献探索などの問題分析のテクニックを学び、クラスメートとディベートし、発表を行う。英語で社会問題に取り組むためのアクティブ・ラーニングの授業を通じて、学生に問題発見を促す。学生は、グループおよび個人で問題を発見し、それを検討して交代でプレゼンテーションを行うというアクティブ・ラーニングを行う。教授用の日本語は評価に関するものなど一部に精選・制限される。
実用コミュニケーション英語 3	<b>授業の概要</b> 日本国内と世界の時事問題や社会的事象を題材にして、社会的な視野を広げながら、英語のスキルを養成する。本セメスターでは、海外諸外国の社会や文化に関するテーマを扱う。現代社会の諸問題に対して自分がどう行動すべきかを考える。これにより、1年次で培った知識を基礎に、英語で行動する積極的な態度を養成し、より実践的に英語で行動できることを目標とする。また、文献探索などの問題分析のテクニックを学び、クラスメートとディベートし、発表を行う。英語で社会問題に取り組むためのアクティブ・ラーニングの授業を通じて、学生に問題発見を促す。学生は、グループおよび個人で問題を発見し、それを検討して交代でプレゼンテーションを行うというアクティブ・ラーニングを行う。教授用の日本語は評価に関するものなど一部に精選・制限される。
実用コミュニケーション英語 4	<b>授業の概要</b> 日本国内と世界の時事問題や社会的事象を題材にして、社会的な視野を広げながら、英語のスキルを養成する。本セメスターでは、現代社会の課題に関するテーマを扱う。SDGsで取り上げられている諸問題に対してそれぞれの目標に向けて自分がどう行動すべきかを考える。これにより、前期で培った知識を基礎に、英語で行動する積極的な態度を養成し、より実践的に英語で行動できることを目標とする。また、文献探索などの問題分析のテクニックを学び、クラスメートとディベートし、発表を行う。英語で社会問題に取り組むためのアクティブ・ラーニングの授業を通じて、学生に問題発見を促す。学生は、グループおよび個人で問題を発見し、それを検討して交代でプレゼンテーションを行うというアクティブ・ラーニングを行う。教授用の日本語は評価に関するものなど一部に精選・制限される。

以上